



～ ふるさとを愛し 自ら学び 未来に挑戦する建屋っ子の育成 ～

# 建小だより

養父市立建屋小学校 学校だより  
令和5年3月9日 No.25



## 「6年生を送る会」～ 6年生へ感謝を込めて ～ 3月3日（金）

計画から準備、当日の運営まで、5年生の活躍が光った「6年生を送る会」。迫力ある5年生の合奏に合わせ、花のアーチをくぐって入場する6年生の顔は、喜びに輝いて見えました。趣向を凝らした学年ごとの出し物や○×ゲームを楽しんだ後は、下級生からメッセージカードのプレゼントが。6年生からは、感謝の言葉と合奏「未来」のお返しがありました。

「ほら、足元を見てごらん。あれがあなたの歩む道♪ ほら、前を見てごらん。あれがあなたの未来♪」3人で心を合わせて演奏したKiroroの曲が、しみり心に響きました。3人の成長を何より喜んでおられるであろうご家族の気持ちを思い、涙する一日でした。

卒業式は、2週間後の3月23日（木）。「感謝」プロジェクトはまだまだ続きます。



## かやのき学級前に「ラーメン店」オープン!

最近、業間休みや昼休みになると、賑やかなチャルメラの演奏が聞こえてきます。かやのき学級前のスペースに、ラーメン店がオープンしたのです。かやのき学級の子も達、段ボールや色紙、模造紙などを使って、本格的なラーメン店を製作しました。店内をのぞくと、レジや食器、食材などがきれいに並べてあります。麺は濃い黄色の縮れ麺で、本当においしそう! 具材には、ゆで卵、なんと、メンマ、チャーシュー、ネギ、があって、メニューに合わせて盛り付けてくれます。ラーメンの他に餃子や唐揚げも。もちろん、持ち帰りや出前もOK。お客さんで賑わう店のカウンターには、アルバイトをする4年生の姿が。学級・年齢関係なく、交流できる素敵な空間が出来ました。心の輪、交流の輪も広がっています。



### 第3回 谷川玄龍先生による書写の授業

6年生が最後に書いた文字は、「信」「壺」「進」。心を込めて書いた力作3点は、教育委員会からいただいた祝い品の額に入れて、卒業式当日に披露する予定です。選んだ文字には、3人の思いが込められています。今回は、2年生も毛筆書写の体験をしました。1年生が見守るなか、緊張しながら筆を進める2年生。4年後にはかなり上達していることでしょう。



#### ■□令和4年度 卒業証書授与式について□■

日時 3月23日(木) 9:00 開式～

\*来賓は招待しません。

教育委員の齋藤氏が出席されますが、教育委員会告示は紙面で行います。

卒業生：入退場、卒業証書授与、卒業生の言葉の時はマスクを外します。

ただし、歌を歌う時や着席時は、マスクを着用します。

在校生・教職員・保護者：マスクを着用します。ただし、前に出る際は外します。



## 「お帰りなさい！ パクンマクン！」

3月4日(土)、建屋小学校を会場に「パクンマクン講演会」が開催されました。コロナの影響で3年ぶりの来校でしたが、学校に入るなり「相変わらずきれいな校舎。全然変わっていないね。」と懐かしそうに話してくださいました。誰にでも気さくな態度で接して下さる姿や、差し入れのお弁当やお菓子を喜んで召し上がってくださる姿から、お二人の温かいお人柄がうかがえました。(差し入れのいちご大福が、早速その後のネタになっていました。)

国際色豊かな持ちネタに即興ネタを織り交ぜての講演会は、時間を忘れるくらい楽しく充実した内容でした。「Can you speak English?」の問いに、自信をもって「Yes.」と答えて欲しいと締めくくり、「来年度また帰ってきます」と笑顔で約束されて、会場を後にされました。

新型コロナウイルスの感染拡大が危ぶまれ、来校の日程が決まったのが12月であったため、オープンスクールとの兼ね合いで今年度は全校生を参加させることができませんでした。次年度は、子ども達、教職員、PTAそろってお話を聞きたいと考えています。



### 「建屋小学校に期待すること」

- コミュニケーションを大切に：人と話すことを楽しいと感じる児童に。
- 話し上手は聞き上手：相手に興味を持って聞く。黄金比率は7(聞く)対3(話す)
- 国際感覚を豊かに：地域の人だけでなく外国の人ともコミュニケーションできる子に。
- 失敗を恐れない：完璧でなくても良い。間違ってもいいから話すくらいの気持ちで。
- クリエイティブな人に：あらかじめ準備したプレゼンではなく、即興で話す、何かをする機会を与えてやって欲しい。